JFEロックファイバー(株)

1)製品種類と材質・形状

表1 材質・形状による区分

製品種類	材質	区分
ロックウール吸音材	ロックウール	多孔質材料

2)他の材料との組み合わせ

表2 組み合わせ例

分野	組み合わせ例	
建築物	ロックウール化粧吸音板、せっこうボード	
空調ダクト・配管	アルミガラスクロス、アルミクラフト	
工場・機械室の防音	ガラスクロス、せっこうボード	

3)吸音機構

表3 吸音効果への影響

影響要素	吸音効果
厚さ	一般に周波数の増加に伴い吸音率は大きくなり、ある周波数ではほぼ一定値に達します。
	厚さの増加に伴い中低音域の吸音率が大きくなります。このことから、中低音域における
	吸音率の必要な値に応じて材料の厚さを選定してください。
密度	密度が高くなるほど吸音率も大きくなる傾向にあります。
	但し、単位面積当たりの重量が同じ場合、一般的には厚いほうが吸音率が高くなると
	考えられます。
背後空気層	背後空気層が厚くなることにより、低音域までの広い周波数範囲で吸音率を大きくする
	ことができます。

4)施工条件

- ①切断は、カッターナイフ等の手動工具を使用してください。 なお、電動工具による切断を行う場合は、色所排気装置・除じん装置を設置してください。
- ②取り扱いに際しては、除じんマスクを着用してください。
- ③長袖の作業衣及び保護手袋を着用してください。 また、必要に応じて保護眼鏡を使用してください。
- ④高温物に敷設した状態で試運転を行う際は、必ず換気を行ってください。
- ⑤廃棄する場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い、「がれき類」又は「ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず」として処理してください。

5)交換·点検手順

施工後、設置箇所から落下しないよう固定した部分の確認を行ってください。

6)保管方法

- ①雨水に濡れない場所で保管してください。 雨水にぬれる可能性がある場合は、シート等を上から被せて養生してください。
- ②乾いた地面に置いてください。

 濡れた地面に置く場合は、パレット等で濡れないよう養生してください。